

加ふる下

右に計し同色井部太田村自村後左の浦印介不袴  
旗は方大徳書名金部(十石)の旗表の提出し、体業  
之部より後ノ志思ク債止之令致則、車忠手言原安  
亦子後ノシテ完し其他ノ要札金部ノ批免し、徳書之金  
部作帳之可ナリト、後理ノ終り多し出之之人ノ運轉中  
丸名中三之車忠手六之牛、且之徳股し他ノ位取守ん  
付解在し解供し。

④八尾部便向

方豆地 右海府中河内部一尾の

方御名 丸名

方御名 金部

糸田記位道

累年ノ前便為増増し集配人ノ地業ノ時留候カト云々之計し  
何難計カア有テ、主事代花形猶左ノ終り  
不詳迄能トノ不平高クハ、月十日。徳野田向長ノ計し  
左ノ解在リ、要札ノ最事ニシテ申出カ、同向長ノ正式  
用者ニ送テ、百方然撫ニ、方徳書之ノ總ノ後、隣理ニシテ送  
レ、右長持ノ、且之ニテ十九日一併休時ノ執出カ、主事向  
長ニ、徳書之ノ申出カ、解免カ、トテ、声以シ、解決シ。

④眼科集毛林或金部

片玉地 福井村右田部西藤島村右島

労働者 男三五名 女一七名 共六名

方御名 男一三名